

議会評価意見書（令和 6 年度事業）

事業名	ふるさと体験村維持管理事業	
議会評価	事業内容：要改善	予算規模：現状維持
【評価理由】 本事業は、施設の維持管理を目的とした指定管理委託であるが、「ふるさと体験村」という弥栄地域の目玉となる施設運営となるものであり、その活用は委員会として以前より注目していた。 行政への現状確認では当初計画に比して「宿泊客」の入込みが下回っており、これは大きな課題とされている。 施設運営関係者へのヒアリングでは、「ふるさと体験村は目的でなく手段である」とのことで、弥栄地域に飲食・宿泊施設があることで滞在や交流がしやすくなること、また、新規就労や滞在する人たちにとっても心の居場所であり、集いの場所であるとのことであった。 地域全体のことを考えると、「ふるさと体験村」はハブ的存在としての考えがあり、ハブとしての位置を生かした事業を進めるべきとも考える。 「おてつたび」や「いわみ留学制度」などにも取り組まれ、弥栄地域のアピールもできつつあり、本年設立された「特定地域づくり事業協同組合」などとも連携する中で、弥栄地域の新たな価値を高める拠点として生かすべきと判断した。 体験村施設自体の入込みを増やす努力も必要だが、地域の拠点としての事業の進展を期待して管理費は現状維持と評価する。 【執行部への提案内容】 今後実施予定の「どぶろくづくり」や体験事業の拡充などによる体験村施設独自の取組の検討に加え、地域の拠点施設として、すでに実施している「交流人口増」の取組や国が検討している「ふるさと住民登録制度」などの施策も積極的に検討されたい。 将来的には持続可能な中山間地域として、保育園留学やコワーキングスペース、ワーケーションなどの取組も検討されたい。		